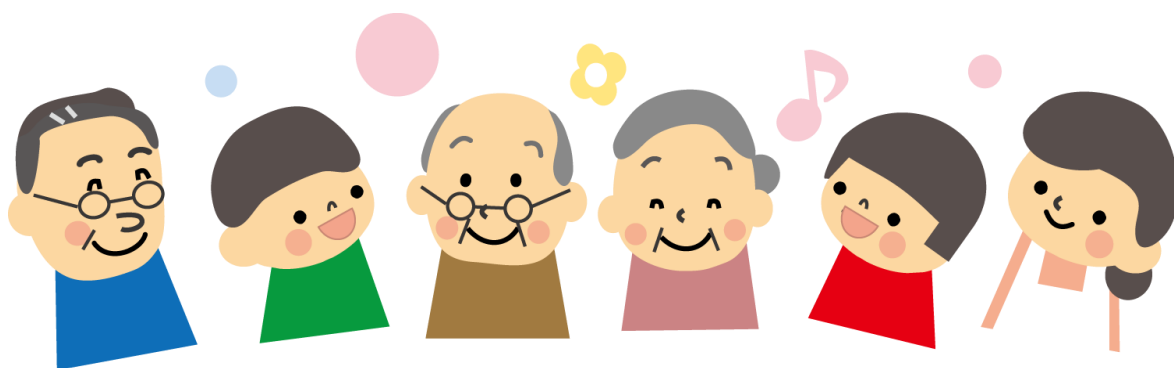


第4次柏市生涯学習推進計画 (骨子案)

笑顔と元気が
輪となり
広がるまち柏



令和3年4月
柏市

はじめに

「第4次柏市生涯学習推進計画」の策定にあたって

この頁には、計画策定にあたっての
思いを市長名で掲載する予定です

目次

第4次柏市生涯学習推進計画 全体構成図

第4次柏市生涯学習推進計画について

第1章 計画の策定にあたって

第1節	計画の策定にあたって	2
1	計画策定の背景	2
2	計画の位置付け	3
3	計画の期間	4
第2節	生涯学習を取り巻く情勢	5
1	柏市の現状	5
2	国・県の考え方	6
3	第3次柏市生涯学習推進計画の総括	7

第2章 生涯学習の推進に向けて

第1節	生涯学習推進計画の基本的な考え方	11
1	生涯学習の定義	11
2	柏市が目指す生涯学習像	12
第2節	基本方針について	13
1	目指す方向性	13
2	取組方針	14
3	計画の推進・評価体制	18

参考資料

関連分野の行政計画等	20
アンケート結果（抜粋）	21

第4次柏市生涯学習推進計画 全体構成図

第1章 計画の策定にあたって

第1節 計画の策定にあたって

第2節 生涯学習を取り巻く情勢

第2章 生涯学習の推進に向けて

第1節 生涯学習推進計画の基本的な考え方

1 生涯学習の定義

2 柏市が目指す生涯学習像

笑顔と元気が輪となり広がるまち柏

第2節 基本方針について

1 目指す方向性

- ・子どもたちが健やかに成長するように
- ・コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように
- ・すべての人が学べる環境に包まれるように

2 取組方針

(1) 「はじめるきっかけ」を支援

(2) 「もっと知りたい, つながりたい」を支援

(3) 「ひろく伝えたい」を支援

情報提供による
学びの支援

第4次柏市生涯学習推進計画について

この計画の特徴

- ①この計画において市が目指す生涯学習像と基本方針を設定した。
- ②手段に着目した取組方針を設定することで、段階的な支援による施策の実効性を確保した。
- ③社会状況の変化に応じて新たな分野を盛り込む計画とした。

第 1 章 計画の策定にあたって

第 1 節 計画の策定にあたって

1 計画策定の背景

柏市では、第3次柏市生涯学習推進計画においては、目指す生涯学習像を「地域における生涯学習社会の形成」とし、市民一人ひとりが自分に適した方法で継続的な学習ができ、その成果が地域社会に還元できるまちを目指す環境づくりに向けた施策を進めてきました。

計画策定から5年が経過した現在、国の施策を見てみると、平成30年6月に閣議決定された「第3期教育振興基本計画」においては、今後の教育政策に関する基本的な方針の一つとして「生涯学び、活躍できる環境を整える」という方向性が示されています。また、同年12月の「中央教育審議会答申」では、今後の地域における社会教育の在り方として「社会教育を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくり」を目指すことが打ち出されており、平成31年4月には「障害者活躍推進プラン」が発出され、「共生社会」の実現に向けた取組を加速し、より積極的に障害者の活躍の場の拡大を図るための政策として「障害のある人の生涯にわたる多様な学びを応援する」ことが謳われています。

柏市においては、平成28年度から10年間の市政の方向性を定める市の最上位計画である「柏市第五次総合計画」が後半の5か年を迎え、後期基本計画の策定並びに市の教育施策計画である、「柏市教育振興計画」の改定により新たな方向性が見出されています。

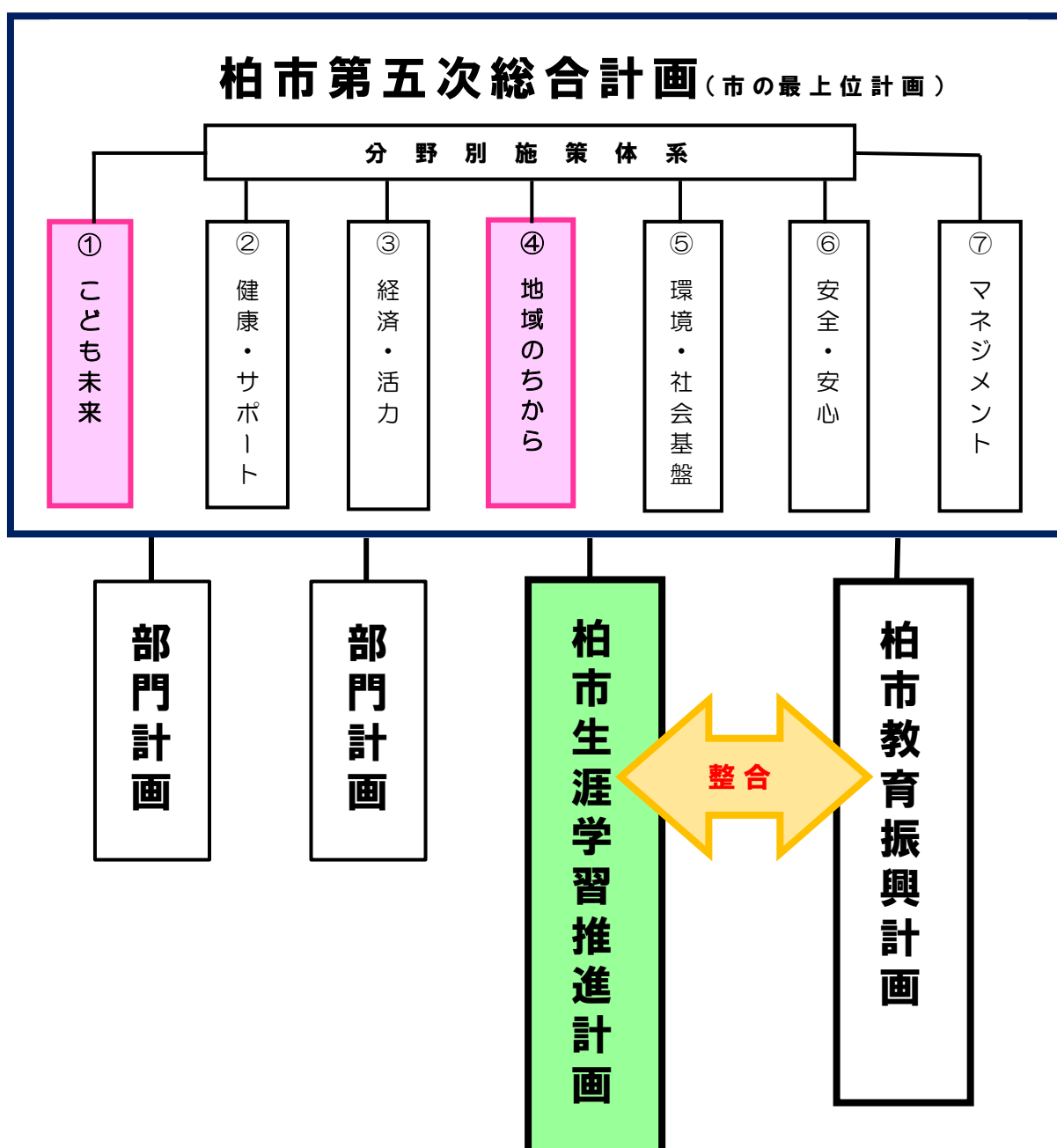
上記のような背景を踏まえて第4次柏市生涯学習推進計画を策定するにあたり、第3次柏市生涯学習推進計画の基本的な理念を踏襲しつつ、国の新たな生涯学習施策の方針及び市の関連計画の方向性を加味したものとしました。

2 計画の位置付け

本計画は、市の最上位計画である「柏市第五次総合計画」の部門計画として策定します。「柏市第五次総合計画」において、生涯学習分野の施策は、「分野1 こども未来」と「分野4 地域のちから」に位置付けられています。

また、市の教育が目指すべき方向性及び目標を明らかにした「柏市教育振興計画」と整合を図ります。

なお、文化・スポーツについては、個別計画を策定することから本計画の対象としません。



3 計画の期間

本計画は、生涯学習推進に向けた中長期的な方向性を示すことから、計画期間は令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

ただし、社会情勢の変化や施策の進捗状況等を踏まえ、必要に応じて見直しを図ります。

平成／令和	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
西暦	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
柏市第五次総合計画	柏市第五次総合計画									
柏市教育振興計画	柏市教育振興計画					第2次 柏市教育振興計画				
柏市生涯学習推進計画	第3次 柏市生涯学習推進計画					第4次 柏市生涯学習推進計画				
柏市芸術文化振興計画	第四次 柏市芸術文化振興計画					第五次 柏市芸術文化振興計画				

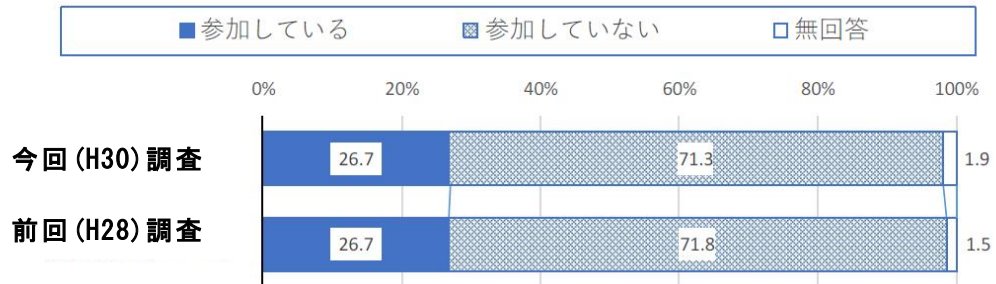
この頁の調査結果は、今後、最新のデータに変更する予定です

第2節 生涯学習を取り巻く情勢

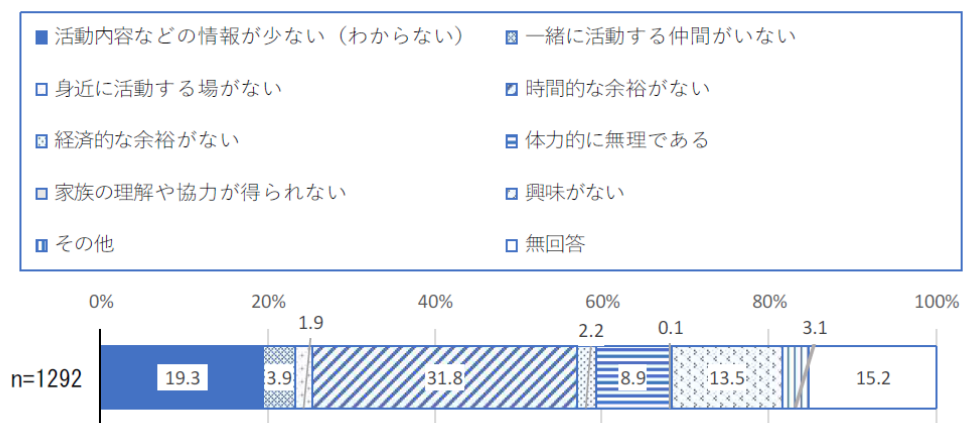
1 柏市の現状

柏市民の意識（H30年度柏市まちづくり推進のための調査から）

● 町会や自治会などの地域活動やボランティア活動などに参加しているか

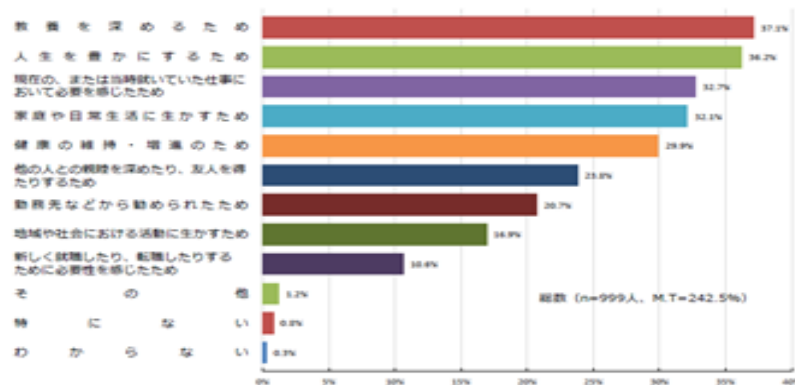


● 地域活動・ボランティア活動に参加していない理由



現在は生涯学習をしていない人が主体的に学び始められるまちを目指すには、活動情報の提供や、時間の制約があっても参加できる工夫などが必要と考えられます。

● 生涯学習をした理由（H30年 内閣府生涯学習に関する世論調査から）



生涯学習をしている人には、教養を深めるためや人生を豊かにするために学ぶ人が多いことが読み取れます。このことから、楽しさや生活の充実感を得られるきっかけ作りへの支援が必要と考えられます。

2 国・県の考え方

国の考え方（抜粋）

◆第3期教育振興基本計画（平成30年6月15日閣議決定）

方針：生涯学び，活躍できる環境を整える

目標：・人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

- ・人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進
- ・職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進
- ・障害者の生涯学習の推進

◆障害者活躍推進プラン（平成31年4月26日文部科学省）

障害のある人の生涯にわたる多様な学びを応援する

- ・学びの場の充実に向けた基盤の整備
- ・コンファレンスの実施
- ・生涯学習機会の充実に向けた調査研究

「県の考え方」については、県の計画策定後に内容を差し替えます。

県の考え方（抜粋）

新 みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン 平成27年2月

- 社会教育施設等が連携・協力し，地域住民に対する学習活動の場を提供するとともに，学んだ成果を地域活動や学校教育で生かす場を広げ，その成果が適切に評価される取組を推進。
- 家庭と地域社会が互いに理解し合い，地域社会を大家族として捉え，子どもたちの教育に協力し合う環境づくりを進める。

第3期千葉県教育振興基本計画（策定中）

基本理念

ちばの教育の力で「県民としての誇り」を高める！「人間の強み」を伸ばす！
「世界とつながる人材」を育てる！

◆人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について

（平成30年12月21日中央教育審議会答申）

〈地域における社会教育の目指すもの〉

- ・地域における社会教育の意義と果たすべき役割
～「社会教育」を基盤とした，人づくり・つながりづくり・地域づくり～
- ・新たな社会教育の方向性
～開かれ，つながる社会教育の実現～

3 第3次柏市生涯学習推進計画の総括

第3次柏市生涯学習推進計画では、「地域における生涯学習社会の形成～学びあい 支えあうまち かしわ～」という生涯学習像を実現するため、「地域づくりへの参画支援」「子育て・親育ちの支援」「生涯学習情報の提供」を重点施策（3本の柱）として定め、計画を推進しました。

【重点施策（3本の柱）の施策体系図】

重点施策	方向性	主な具体的事業
1 地域づくりへの参画支援	(1) 地域のために何かをしたいと考える人材（リーダー・サポーター）の発掘、育成	地域の特性に合わせた講座を展開し、地域づくりに関する活動をはじめるといった人材の増加を目指した ・ 柏市生涯学習まちづくり出前講座 ・ ボランティア養成講座 など
	(2) 地域課題をともに解決していくための活動をする団体等への支援（立ち上げ支援・運営支援）	多種多様な地域課題の解決のために、地域と行政と共に取り組む団体の増加を目指した ・ 地域活動支援補助金 ・ 市民交流センターの運営 ・ 地域いきいきセンター など
	(3) 生涯学習実施機関のネットワーク化	団体と行政との連携を進め、交流活動の活発化を目指した ・ ネットワーク化の推進 など
2 子育て・親育ちの支援	(1) 子育ての楽しみや不安を分かち合える環境づくり	保護者同士が学びあう場をつくり、親子が出会い育ちあえる交流の場の充実を目指した ・ 地域子育て支援拠点事業 ・ みんなの子育て広場 など
	(2) 安心して子育てができる情報提供・相談体制の充実	子育て関連の情報提供と気軽な相談の場の充実によって、育児のしづらさの解消を目指した ・ 子育て支援情報提供事業 ・ 利用者支援事業 など
3 生涯学習情報の提供	(1) さまざまな生涯学習情報、ライフスタイルの変化に対応した学習機会の提供	生涯学習情報の集約に向けた取組と、誰もがいつでもどこでも自由に学べる機会の提供を目指した ・ 生涯学習情報提供システム など

重点施策の総括

本計画の策定にあたり、令和元年度に実施した所管課による各具体的事業の評価のまとめ等を踏まえて、重点施策ごとに第3次柏市生涯学習推進計画の総括を行いました。

1 地域づくりへの参画支援について

- ・ 人生100年時代においては、若者から高齢者まで全ての市民が元気で活躍し続けられるコミュニティをつくる必要がある。そのためには、学びの場である社会教育施設等を拠点に、楽しさをベースとした学びを入口とすることも想定しつつ、生きがいづくりが地域課題に関わるきっかけとなるようなイベント等を行うことが有効である。
- ・ 地域の課題が多様化かつ複雑化していることを考えると、地域課題の解決に対して積極的に取り組んでいる市民や団体、あるいはこれから地域で何かを始めようとしている市民への支援を行政機関が個々に行うのではなく、連携し合うことで地域課題解決への取り組みの好循環を作っていくことが求められている。

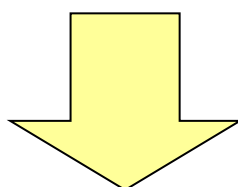
2 子育て・親育ちの支援

- ・ 地域のつながりの希薄化や核家族化が進むことで子育てについて相談できる環境が少なくなり、育児に不安を持つ親が増えている。
- ・ 今後、さらに進行していく少子高齢化社会において子育て支援を充実させていくためには、子育て世代の親への支援の充実だけでなく、子ども達を全世代で、また地域総がかりで育てる視点を持つことが求められている。そして、その環境で学び、育った子ども達が地域の未来の担い手になっていくことを目指す、学びの循環の視点が必要とされている。

3 生涯学習情報の提供

- ・ 情報は、様々な学びや活動の場に一步踏み出すきっかけとなるものであり、時間的制約の多い現役世代や生涯学習に関心が低いとされる若年層へ参加を呼び掛ける手段としても有効と考えられ、今後も情報提供に係る環境の整備に尽力していく必要がある。
- ・ インターネット環境の整備やICT機器の急速な発展により、市民が生涯学習情報を得る手段も多様化している。時代の変化に合わせた学習機会の提供は、さらに重要性を増しており、未来志向で様々な方向性を検討していくべきである。

これを受けて本計画では



次のように決めました。

- ① 「地域づくりへの参画支援」、 「子育て・親育ちの支援」の理念を第4次柏市生涯学習推進計画に引継ぎ、基本方針（後述）とする。
- ② 「生涯学習情報の提供」を取組方針（後述）の全てに関わる支援として位置付ける。
- ③ 社会状況の変化に対応した新たな分野の事業を加えるにあたり、全ての分野の具体的事業を生涯学習の段階に応じた支援（取組方針）により整理する。

第 2 章 生涯学習の推進に向けて

第 1 節 生涯学習推進計画の基本的な考え方

1 生涯学習の定義

生涯学習とは

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない。
(教育基本法第3条「生涯学習の理念」)

学びとは何か？

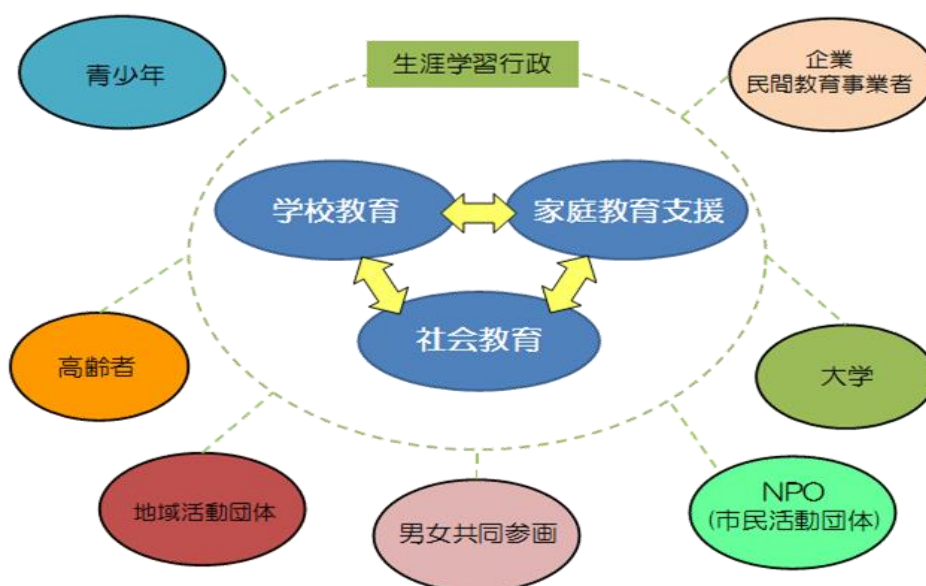
「様々な活動をすることにより、その人の行動が変わること」と考えると

例えば

- ・ コーヒー好きが高じて茶話会や講習会に通いつめ、遂にカフェ店長になったお兄さん
- ・ 子育てサークルで話しているうちに気持ちが楽になり、いつの間にか子どもとの時間を全力で楽しんでいるお母さん
- ・ 地域の行事「八朔相撲」を子どもの応援で初めて知って以来、気付けば毎年参加して、今ではすっかり名物行司になったお父さん

みんな学ぶ人、生涯学習する人だと思います

生涯学習行政のイメージ図



2 柏市が目指す生涯学習像

目指す生涯学習像を次のとおりとします。

笑顔と元気が輪となり広がるまち柏

この生涯学習像は、柏市第五次総合計画が設定した将来都市像の実現を生
涯学習の面から推進していくことを表現しています。

柏市第五次総合計画の将来都市像

未来へつづく先進住環境都市・柏
～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～

柏市第五次総合計画におけるこの将来都市像は、

- ① 先進的なまちをつくる
- ② 持続可能なまちをつくる
- ③ 地域課題を克服した暮らしやすいまちをつくる

という視点から設定されています。

少子高齢化や人口減少、地域を支える力の低下といった課題を克服するためには、地域力を高め、これを全市的に波及させていく必要があります。この点を「笑顔と元気が輪となり広がる」と表現していますが、この視点は、生涯学習の推進においても共通する考え方です。

学びへの参加をきっかけに、人々の笑顔と元気が輪となり柏のまち全体に広がり、人とつながり地域とつながることで地域課題の解決に結び付くことを目指し、この生涯学習像を設定します。

第2節 基本方針について

1 目指す方向性

次の3つの実現に向けて取り組みます。

《1》子どもたちが健やかに成長するように

家庭教育はすべての教育の出発点であり、子ども達の成長に重要な役割を果たすものですが、地域のつながりの希薄化や核家族化に加え、柏市では転入者の増加などにより、つながりを持たない親が増えています。子育ての不安を相談したり交流したりできる場が必要です。

そこで、保護者・親子が集まり、共に支え合う仲間を作ったり、学び合ったりできる機会の提供や、相談体制の充実等の取組により、子ども同士が育ち合い、親自身も成長できる環境づくりを進めます。

今後、少子高齢化が進行する社会においては、子ども達を全世代で、また、地域総がかりで育てる視点を持つことが求められています。そして、その環境で育った子ども達が未来の地域の担い手となり、自己の志の実現を図れる社会にしていくことを目指します。

《2》コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように

現在、地域全体の力（地域力）が低下していると言われていています。超高齢社会を迎えた今、地域の担い手の不足は喫緊の課題です。

そこで、地域の担い手となり得る人材や、地域のために何かをしたいと思っているけれどもまだ動き始めていない人、きっかけがあれば地域貢献してもいいと思っている人と、地域をつなぐことに取り組みます。

従来、地域の活動を多く担ってきた中高年世代の枠を超え、若い世代も含めた人材の発掘・育成へと広げていくことを目指します。そのために、楽しさをベースとした学びを入口とすることも想定しつつ、これをきっかけに市民の活動を活発化させ、市民が主体的に地域の課題を解決していく持続可能な地域づくりをすすめます。

また、地域の人と人とのつながりは支え合いと見守りによるセーフティネットとなり、子どもや高齢者を含めた一人一人が自分らしく活動できるまちづくりにつながっていくと期待されます。

《3》すべての人が学べる環境に包まれるように

あらゆる場面において的確な情報提供を行い、障害の有無、言語や時間・経済的制約等に関わらず、市民一人一人がいつでも、だれでも、どこでも学ぶことができる環境を整えます。

また、学んだ成果を地域で生かせる活動につなげる取組により、生きがい・やりがいを感じられ、自分自身が地域の一員であり主役であることの喜びや充実感の中で生活できることを目指します。

そのために、市民団体や個人への支援を行政機関が個別に行うのではなく、これらの連携に取り組みます。ネットワーク型行政を実質化していくことにより、一人一人の学びと生活の充実が地域貢献につながっていく好循環を作り出すことを目指します。

2 取組方針

目指す方向性を実現するための段階的支援

①「はじめるきっかけ」を支援

楽しさをベースにした学びなど、活動のきっかけづくりをすることで、あらゆる世代の社会参加を促し主体的に活動できるように工夫します。学びのユニバーサルデザインを意識した取組により共生社会実現への具体的な一歩を踏み出します。

- ◆あらゆる世代が参加できる様々な学びの提供
- ◆障害の有無、言語や時間・経済的制約に関わらず、共に学ぶ環境の充実

②「もっと知りたい、つながりたい」を支援

楽しい！面白い！という気持ちから、もっと深く知りたい！へ。独学による自己の充足はもちろん、仲間と共に学ぶことで人とのつながりが生まれます。

地域コミュニティは一人一人の生活の集まりです。学びによるつながりは、地域交流や連帯感を深め、コミュニティの活性化につながると期待されます。

- ◆より深い学びへの発展
- ◆団体同士・学ぶ人同士の交流
- ◆大学や民間事業者との連携

③「ひろく伝えたい」を支援

学びから広がる交流の輪は、更なる学びや地域活動のきっかけとなり、学びの循環が生まれます。

自らが講師となって学んだ成果を伝えることは地域の活性化につながるだけでなく、地域に対する愛着を育み、自らが地域の一員であり主役であることの喜びや充実感を生みます。同時に、人から受け取った楽しさや優しさを更に別の人におくる、学びあい・支えあいの循環にもつながっていくことが期待されます。

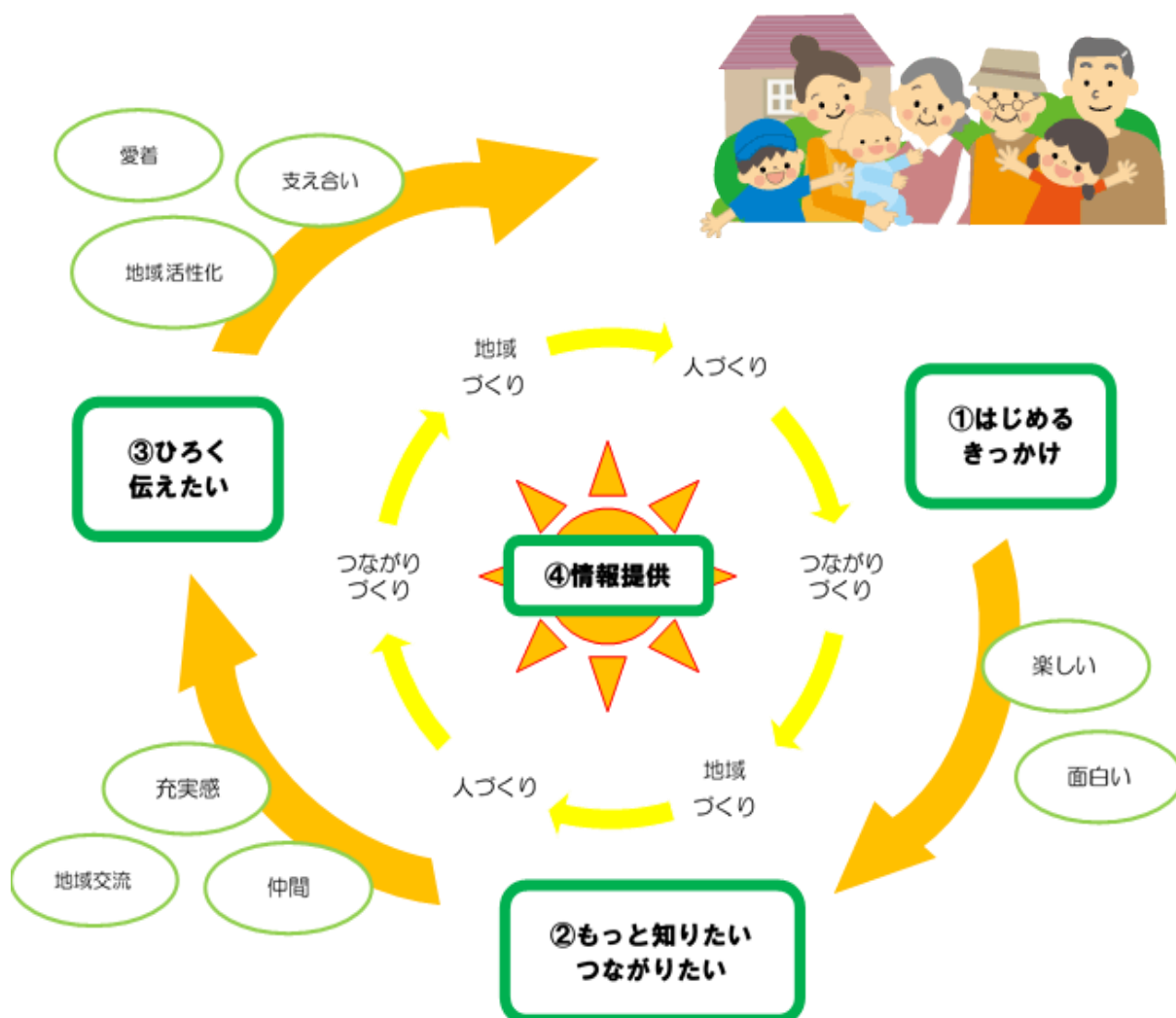
- ◆人材の育成
- ◆コミュニティの育成
- ◆行政機関の連携

④情報提供による学びの支援

的確かつ効果的な情報提供は、全ての段階に共通して求められる支援です。学ぶ人が必要な情報を必要な時に収集できるよう、一元的な生涯学習情報の提供に取り組みます。

目指す方向性を実現するための段階的支援のイメージ

一人一人の学びと生活の充実が地域の力につながっている好循環

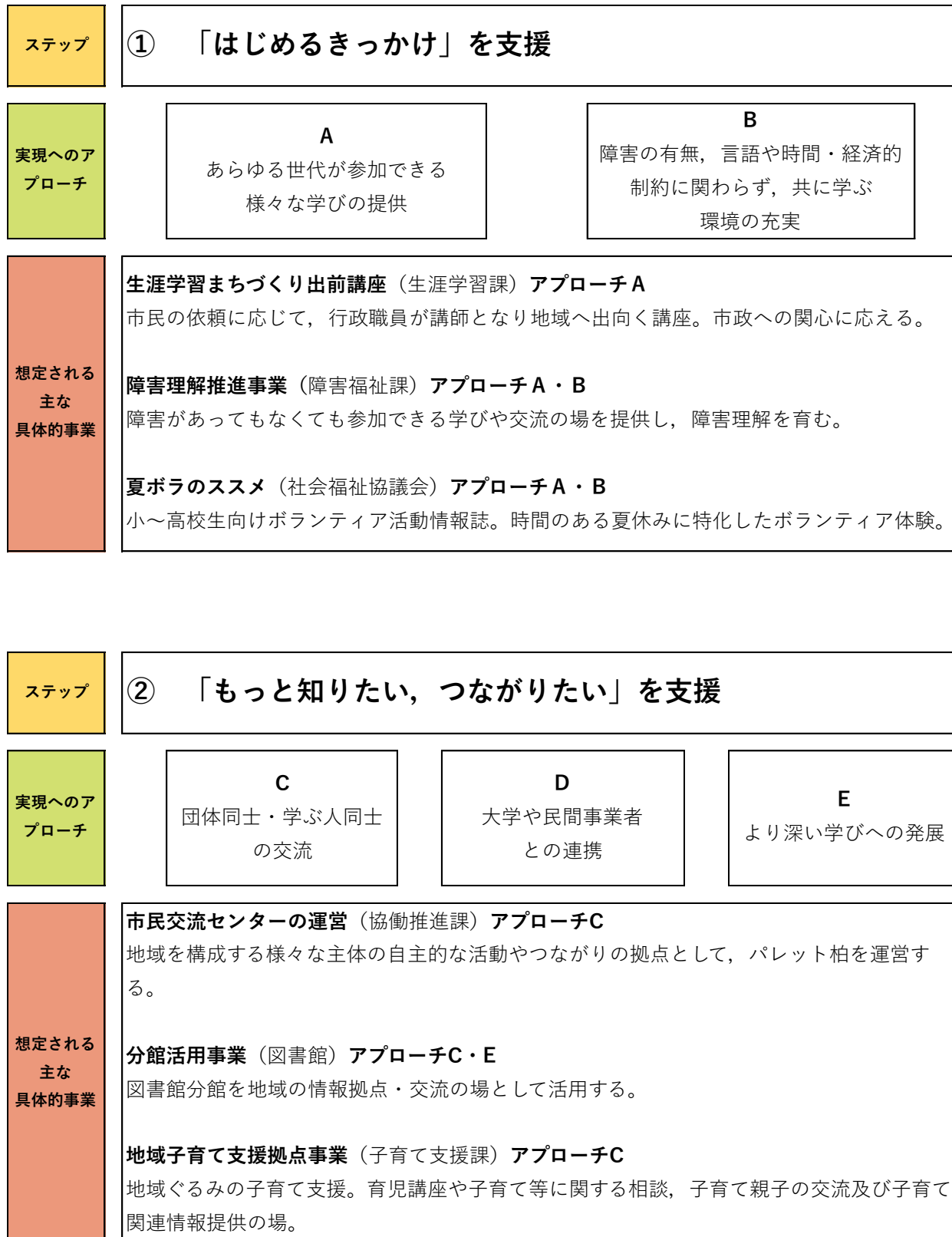


人づくり：自主的・自発的な学びによる知的欲求の充足，自己実現・成長。

つながりづくり：住民の相互学習を通じ，つながり意識や住民同士の絆の強化。

地域づくり：地域に対する愛着や帰属意識，地域の将来像を考え取り組む意欲の喚起。住民の主体的参画による地域課題解決。

取組方針の施策体系（イメージ）



ステップ	③ 「ひろく伝えたい」を支援		
実現へのアプローチ	F 人材の育成	G コミュニティの育成	H 行政機関の連携
想定される 主な 具体的事業	<p>学校支援コーディネーター・推進員の育成（指導課）アプローチF 小中学校において、地域ボランティアが参画する様々な支援のまとめ役の育成。学校と地域をつなぐ役割を担う。今後、地域学校協働本部が立ち上がった際には、より広い活動を行う推進員が学校と地域の協働を支えていく。</p> <p>地域活動支援補助金（地域支援課）アプローチG 町会を通じて地域活動や地域の課題解決を図ろうとする団体の支援を行う。</p> <p>ネットワーク化の推進（生涯学習課）アプローチH 行政と関係団体との情報交換により連携を強化し、コミュニティエリアを中心とした生涯学習講座実施につなげる。</p>		

テーマ	④ 情報提供による学びの支援		
想定される 主な 具体的事業	<p>生涯学習情報提供システム（生涯学習課） 柏市近隣の生涯学習情報（講座・イベント・団体）を発信する。</p> <p>ライフスタイルに合わせた情報提供（生涯学習課） 電子的情報発信の強化，時間や場所を問わずタブレット端末など様々なツールを利用した学習機会の拡充。</p>		

3 計画の推進・評価体制

計画は、策定し実行するだけでなく、適正な評価を行い、施策の充実や見直しを行っていくことが大切です。

この計画では、外部の有識者を含む附属機関に意見を聞きながら、計画的かつ効果的に推進を図ります。

進捗管理及び評価については、取組方針に基づき施策体系化した具体的事業により目標を設定し、結果の検証を行います。

（教育委員会が所管する施策の評価について）

教育委員会が所管する施策の評価については、教育に関する事務の点検・評価報告書において、この計画で掲げる成果目標により、施策の進捗状況を明らかにし、対象年度の取組内容と、今後の方向性を示していきます。

參考資料

この頁の計画等は、今後、最新の内容に変更する予定です

関連分野の行政計画等（抜粋）

柏市図書館のあり方（H31.2）

基本方針

1. 学び 生涯を通じて学び、生きる力を獲得することを支えます。
2. 共有 資料・知識・経験等の共有と学びあいの場を提供し、ゆるやかなつながりを育みます。
3. 創造 新しい価値を生み出す創造的な活動を支え、ひとづくり・地域づくりを育みます。

小学校 学習指導要領 前文（H29）

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。

柏市子ども・子育て支援事業計画（H27.3）

基本理念 「子どもの育ち」と「子育て」を優しく見守り、支えあうまち かしわ
人に優しくされた経験のない子どもは、人に優しくできる大人には育たないといわれています。

子どもや子育て家庭に対する支援に取り組むことは、将来、大人になった今の子どもたちが、未来の子どもたちを支援することにつながるはずです。

つまり、子ども・子育て支援は、未来への投資にほかなりません。

柏市の未来を担う子どもたちが、健やかに成長でき、また、安心して子育てができるよう、この基本理念に基づいた取り組みを、みんなで進めていきます。

ノーマライゼーションかしわプラン（H29）

基本理念 みんなでつくる みんなで暮らせるまち かしわ

- 基本方針
1. 共生社会の実現に向けた相互理解の促進
 2. 暮らしやすい環境づくりの推進
 3. 健やかに暮らせる地域づくりの推進

アンケート結果（抜粋）

アンケート調査の内容を抜粋
して掲載する予定です